

日本医史学会役員氏名(五十音順)

理事長 大鳥蘭三郎
 常任理事 原田 康夫(第八十七回)
 大塚 恭男(理事長代行)
 酒井 シヅ 宗田 一
 會計監事 関根 正雄 三輪 卓爾
 理事 石原 力 大滝 紀雄 大塚 恭男
 大鳥蘭三郎 緒方 富雄 川喜田愛郎
 蒲原 宏 蔵方 宏昌 酒井 シヅ
 酒井 恒 杉田 暉道 宗田 一
 中野 操 長門谷洋治 富士川英郎
 藤野恒三郎 古川 明 矢数 道明
 谷津 三雄 矢部 一郎 山形 敏一

幹事 大村 敏郎 蔵方 宏昌 深瀬 泰旦
 矢部 一郎

評議員 青木 允夫 赤堀 昭 安芸 基雄
 石田 純郎 今市 正義 岩村 勇一
 江川 義雄 大島 智夫 大村 敏郎
 岡田 博 岡田 靖雄 奥村 武
 片桐 一男 加藤 四郎 加藤 豊明
 川島 恂二 久志本常孝 榎原悠紀田郎
 末中 哲夫 杉立 義一 鈴木 宜民
 関根 正雄 瀬戸 俊一 高木圭二郎
 高山 坦三 田代 逸郎 立川 昭二
 田中 助一 津田 進三 筒井 正弘

土屋 重朗 中川 米造 中沢 中修
 中西 啓 中山 沃 西川 演八
 深部 敏良 原田 康夫 樋口誠太郎
 丸山 泰旦 福島 義一 本間 邦郎
 三輪 卓爾 松木 明知 三浦 豊彦
 矢数 圭堂 室賀 昭三 守屋 正
 山田 光胤 安井 広 山下 喜明
 渡辺左武郎 山中 太木 米田 正治
 (理事の名は省略)

編集後記

第八七回日本医史学会総会抄録号を、総会直前にお届けする。このたびは広島で開

かれるということで、広島県出身の呉秀三、富士川游先生についての講演があり、また芸備医学会に関する発表もある。本学会が各地で開催されるとき、それぞれの地方の郷土医史の発表をきくことができるのは、有意義であり、また楽しい。もちろん総会の発表である以上、全体とのバランスもあるわけだが、しかしこの慣習は続けてゆきたいと思う。

前号の編集後記で、西洋医学史分野の論文が少ないことが問題だと、矢部一郎氏が

指摘しておられる。なるほど本総会の演題数をもても、約二〇パーセントにすぎない。これは資料の入手や現地踏査の困難のほかに、語学上のバリエーションがあるからで、やむをえないこともかもしれない。むしろ日本の医史学会だから、日本の医史をこそ、研究すべきだという意見もあろう。ただそうした困難を克服して、日本ではあまり手のつけられていない、数多くのテーマにとりくむ研究者の出現を、今後に期待したい。東西文化の比較から、独特のものをみいだすことのできる基盤を、たしかにこの国はもっているのである。(石原 力)

昭和六十一年四月二十五日 印刷
 昭和六十一年四月三十日 発行
 日本医史学雑誌
 第三十二巻第二号
 編集者代表 大鳥 蘭 三 郎
 発行者 日本医史学会 大鳥蘭三郎
 代表 大鳥蘭三郎
 東京都文京区本郷二丁目
 順天堂大学医学部
 医史学研究室内
 振替 東京 六一五二五〇番
 印刷所 三報社印刷株式会社
 一三 東京都江東区亀戸